



週間情報



No.0433

発行日 令和4年9月6日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

消防本部の動き

訓練

◆ 警察署と合同水難救助訓練を実施

伊勢崎市消防本部（群馬）

伊勢崎市消防本部では、令和4年8月18日（木）、管内の波志江沼環境ふれあい公園において、伊勢崎警察署と合同水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、水難事故や豪雨災害が発生した際に、警察と消防が連携して円滑な災害対応をすることを目的として実施したものです。

訓練では、特別救助隊員7名と警察署員20名がパドルによる操船技術を確認したほか、浸水した家屋の屋根上に要救助者6名が取り残されているという想定で、合同救出活動や無視界状況下での潜水救出活動を実施しました。

今後も、関係機関との連携強化を図り、あらゆる災害から地域住民の大切な命、体、財産を守るという職責に強い誇りを持ち、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 土砂災害対応訓練を実施

霧島市消防局（鹿児島）

霧島市消防局では、令和4年8月17日（水）、18日（木）の2日間、管内の建設会社の砂取り場で土砂災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、近年、全国各地で土砂災害が発生していることを踏まえ、土砂災害現場における基礎知識と、安全で確実な救助活動要領を習得することを目的として実施しました。

当日は、土砂の掘削方法の手技や応急土留め及び土砂搬送の要領を確認するとともに、「一方掘り救助法」、「内堀救助法」を実践しました。

今後も訓練を継続し、さまざまな災害に対応できるよう災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

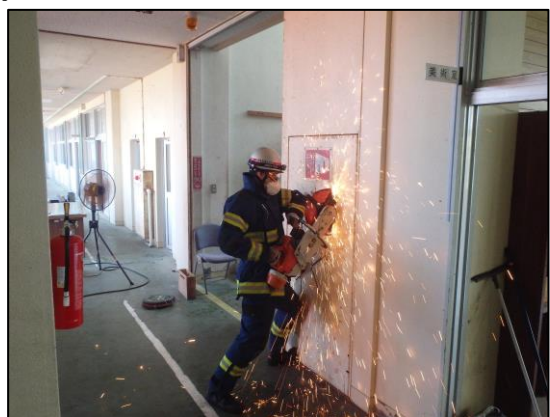
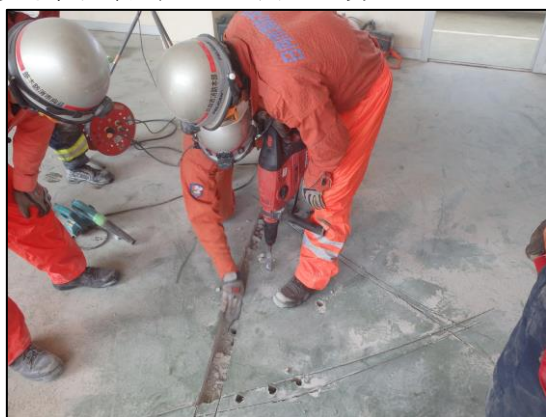
◆ 解体予定の公共施設を活用した消防活動訓練を実施

日向市消防本部（宮崎）

日向市消防本部では、令和4年8月8日（月）、19日（金）の両日、解体予定の公共施設を活用した消防活動訓練を実施しました。

この訓練は、救助隊を中心に計16名の隊員が参加し、「災害が発生した倒壊建物において要救助者が発生した」という想定で、実際の建築物を活用したコンクリート破壊やドア切断の手技を習得したものです。

今後も、災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 緊急事態対処合同訓練を実施

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、令和4年8月24日（水）、モノレール那覇空港駅において、沖縄都市モノレール株式会社及び沖縄県警察本部と緊急事態対処合同訓練を実施しました。

この訓練は、電車内で乗客が凶悪事件に巻き込まれたことを想定し、緊急時の連携強化を図ることを目的に実施したものです。

訓練では、走行中のモノレール車内において、刺傷事案が発生した後の、駅務員による避難誘導、警察による安全確保、消防による傷病者の応急処置及び搬送など、一連の流れを訓練で確認しました。

今後も、各関係機関がそれぞれの特性について相互理解を深められるよう、連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 米海兵隊岩国航空基地と合同訓練を実施

岩国地区消防組合消防本部（山口）

岩国地区消防組合消防本部では、令和4年8月25日（木）、米海兵隊岩国航空基地と合同訓練を実施しました。

この訓練は、令和3年3月に同基地との間で締結した「米軍家族住宅エリアにおける緊急車両の通行に関する現地協定」に基づき、甚大な自然災害の発生により一般道が通行不能となったことを想定して実施したもので、協定締結後2回目となります。

訓練では、通常は走行できない米軍家族住宅エリア内を走行し、情報共有、事務手続き要領等を再確認することができました。

今後も、各種災害に対し迅速に対応できるよう訓練を重ね、関係機関と連携強化を図り、住民の安心・安全に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 消防団と合同で災害対応訓練を実施

奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部（岩手）

奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部では、令和4年8月28日（日）、金ヶ崎町消防団と合同で災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、大規模災害を想定して同消防団と連携活動の強化を目的として実施したものです。

訓練では、火災防御活動を実施したあと、令和2年に同消防団へ配備されたチェーンソーや電動式油圧救助器具の操作方法を消防職員が消防団員に説明しました。その後、これらの資器材を駆使して倒壊建物や交通事故車両の救助救出訓練を行いました。

今後も、継続して連携訓練を実施することで、相互の災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

そ の 他

◆ 災害時消防協力事業所に表示証を贈呈

丹羽広域事務組合消防本部（愛知）

丹羽広域事務組合消防本部では、令和4年8月23日（火）から25日（木）までの3日間、消防長から災害時消防協力事業所に表示証を贈呈しました。

当消防本部は、災害時に食料・資機材等支援をしていただく18の事業所と協定を締結しています。

今後も、関係事業所との連携と活動体制の充実強化を図り、災害対応力の向上に努めてまいります。



【表示証贈呈後の記念撮影】

◆ 火災予防啓発看板の寄贈

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部（秋田）

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部では、令和4年8月19日（金）、火災予防啓発看板の寄贈を受けました。

この看板は、火災予防の啓発につなげようと角館消防署中仙消防分署が大仙市立中仙中学校造形部に製作を依頼し、同分署に寄贈されたものです。

看板は、縦0.7m、横7.2mの大きさで、大仙市の花コスモスのデザインと消防士の姿が目を引きものとなっており、完成まで約2か月の期間をかけて製作してもらいました。

看板の効果によって地域住民の防災意識の向上につながることを期待します。



【寄贈の様子】



【看板設置の様子】

◆ 夏休み消防体験教室を開催

厚木市消防本部（神奈川）

厚木市消防本部では、令和4年8月19日（金）、小・中学生を対象に夏休み消防体験教室を開催しました。

この教室は、地震体験、30m級はしご車搭乗体験、煙体験、放水体験、ロープ結索体験などさまざまな体験をしてもらい、体験後に終了証を交付するものです。

当日は、体験希望者が多かったため、受付開始から約1時間で定員の40名に達しました。

参加した小・中学生とその保護者は、充実した内容にとっても満足していました。

今後も、将来を担う小・中学生に対する防火・防災意識の啓発に努めてまいります。



【体験教室の様子】

◆ スタンプラリーイベントを開催

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和4年8月6日（土）、7日（日）、21日（日）の3日間、小学生を対象としたスタンプラリーイベントを開催しました。

このイベントは、「夏休みの宿題2022～自由研究のテーマは消防士～」として、消防士の仕事を体験して学ぶことで、参加者の防災意識の向上や、将来の採用試験受験者の増加を目的としたものです。また、夏休みの自由研究として、学習した内容を小学校で展開してもらえる効果も期待しています。

イベント後のアンケートでは「少人数制でよかった。」「自由研究がんばります。」「子どもが消防士になりたいと言いだした。」「来年もやってほしい。」などの回答が多く寄せられました。

今後も、市民に喜んでもらえるような企画・立案に努めてまいります。



【イベント時の記念撮影】



【イベントパンフレット】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 新型コロナウイルス感染症に係る発生届の限定（緊急避難措置）の概要及び必要な手続き等への対応について

（事務連絡、令和4年8月26日）

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部（局）あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

消防機関における新型コロナウイルス感染症への対応については、これまでも「新型コロナウイルス感染症に係る消防機関における対応について」（令和2年2月4日付け消防消第26号消防庁消防・救急課長、消防救第32号消防庁救急企画室長通知、令和2年5月13日一部改正。以下「2月4日付け消防庁通知」という。）等により、関係者間で連携し、的確に対応いただいているところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/ed2d800cd25d15a3f29fbb5c4857f3824baf57ef.pdf>）に掲載されています。

【問合せ先】

連絡先 消防庁救急企画室

担 当 飯田専門官、岡澤補佐、石田係長、篠原事務官

TEL：03-5253-7529

FAX：03-5253-7532

E-mail：kyukyuanzen@soumu.go.jp

◆ 木造飲食店等が密集する地域に対する防火指導について（通知）

（消防消第301号、消防予第423号、令和4年8月26日）

消防庁消防・救急課長、消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和4年8月10日、福岡県北九州市小倉北区の旦過地区において、床面積約3,300㎡を焼損する火災が発生しました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/220826_yobou_1.pdf) に掲載されています。

消防庁消防・救急課警防係

担 当：池田、平田、鷹羽

T E L：03-5253-7522

E mail：keibou@ml.soumu.go.jp

消防庁予防課予防係

担 当：濱田、佐藤、菅野

T E L：03-5253-7523

E mail：yobouka-y@ml.soumu.go.jp

◆ 火災予防関係手続における電子申請等の導入に関する留意事項について（情報提供）

（事務連絡、令和4年8月30日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素から消防行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

火災予防関係手続における電子申請等の導入については、令和4年度中の導入に向けて各消防本部における取組を推進いただいているところです。今般、火災予防関係手続における電子申請等の導入に関する留意事項等を取りまとめましたので、下記を踏まえて取組を一層加速させていただきますようお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/f90640855e4d88c09d45cf307aba71dcblcbf932.pdf>) に掲載されています。

（問い合わせ先）

総務省消防庁予防課

担当：米田、中嶋、上野、藤原、原口

TEL：03-5253-7523

MAIL：yobo@soumu.go.jp

◆ 建築物防災週間（令和４年度秋季）の実施について

（事務連絡、令和４年８月３０日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

標記について、「建築物防災週間（令和４年度秋季）の実施について」（令和４年８月２４日国住事防第１３号）により、国土交通省住宅局長から別添のとおり協力依頼がありましたのでお知らせします。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/220830_yobou.pdf）に掲載されています。

＜連絡先＞

消防庁予防課予防係

担当：佐藤・菅野

T E L：０３－５２５３－７５２３

Email：yobouka-y@ml.soumu.go.jp

報道発表

◆ 令和３年１月から令和３年１２月までに発生した製品火災に関する調査結果

（令和４年８月２５日、消防庁）

消防庁では、火災を起こす危険な製品の流通を防止し、消費者の安心・安全を確保することを目的として、令和３年１月から令和３年１２月までに自動車等、電気用品及び燃焼機器に係る製品の不具合により発生したと消防機関により判断された火災（以下「製品火災」といいます。）について、発生件数や製品情報等を取りまとめました。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/220825_yobou_1.pdf）に掲載されています。

連絡先：消防庁予防課

担当：濱田・佐藤・秋吉

電話：０３－５２５３－７５２３

FAX：０３－５２５３－７５３３

◆ 令和4年7月の熱中症による救急搬送状況

(令和4年8月26日、消防庁)

熱中症による救急搬送人員について、令和4年7月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/20220826_kyuki_01.pdf) に掲載されています。

(連絡先)
消防庁救急企画室
担当：小味、入江、大浦
電話：03-5253-7529
FAX：03-5253-7532

情報提供

◆ 指定店登録事業者からのお知らせ（令和4年8月分）

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、指定店登録事業者からのご案内をメールにて定期的に各消防本部へ配信しています。8月は以下の配信を実施いたしました。

お見逃しの方にはご希望により同メールを再送いたしますので、問合せ先までメールにてご連絡ください。

- 1 8月3日（水）配信
 - (1) 株式会社エッセンコーポレーション：フランス製鋳物ホーロー鍋「シャスール」の特別販売
 - (2) ミサワホーム株式会社：夏まつりフェアのご案内（令和4年8月31日にて終了）
- 2 8月10日（水）配信
大和ハウス工業株式会社：無料WEBセミナーのご案内（令和4年9月5日にて終了）
- 3 8月17日（水）配信
株式会社ケイ・エフ・ジー：スキンケア化粧品の特別販売
- 4 8月24日（水）配信
株式会社東平商会：お魚ナゲット、クリームコロッケ等の特別販売
- 5 8月31日（水）配信
富士器業株式会社：オリジナルフライパン「Davipan・鉄」の特別販売

【問合せ先】
業務課
担当：石井健一、茂呂
メール：zaimu-5@fcj.gr.jp



第26回JFFW交流会

寄り添う想い 明日のパワーへ ～川崎から広がる想いと絆～

JFFWはJapan Fire Fighting Women's clubの略で、女性消防職員が自主的に集まる、全国規模のネットワークです。

- 1 日時
令和4年10月22日（土）9時30分から19時00分まで
- 2 場所
川崎市国際交流センター
川崎市中原区木月祇園町2-2 電話 044-435-7000
- 3 交流会スケジュール
 - (1) 受付・名刺交換会 (9:30～10:00)
 - (2) 開会 (10:00～10:50)
 - (3) 講演会 (10:50～11:05)
「女性消防吏員活躍推進の取組み」
総務省消防庁 消防・救急課
 - (4) 基調講演 (11:05～12:05)
「チームワークを高めるリーダーシップ」
株式会社川崎フロンターレ 前代表取締役社長 藁科 義弘 氏
～ 昼食・休憩 ～
 - (5) 分科会 (13:00～15:20)
 - (6) 全体会 (15:40～16:10)
 - (7) 国際交流タイム (16:10～16:40)
講演「ウクライナの伝統工芸と平和への願い」
川崎市宮前区在住 テチャーナ ソロツカ 氏
 - (8) 閉会 (16:40～16:50)
 - (9) ウクライナ工芸・パネル鑑賞 (16:50～17:20)
 - (10) 意見交換会 (17:30～19:00)
- 4 申し込み
JFFWホームページ(<https://club-jffw.com/>)から申し込みできます。
なお、定員になり次第締め切りとなります。

問い合わせ先：JFFW交流会事務局

川崎市消防局 高津消防署 熊谷／044-811-0119

相模原市消防局警防部救急課 野口／042-751-9142

※ 交流会は、感染リスクに十分配慮し、感染防止対策を講じた上で開催いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

・機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0416）1ページ、機関誌「ほのお」2022年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 高田

原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 高田

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 石原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。